

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度

(2023年4月～2024年3月)



発行日： 2024年 6月 29日



—21世紀の環境をテーマに—
有限会社 **ダイソー環境開発**

目 次

1. 組織の概要	1～4
2. 実施体制	5
3. 環境経営方針	6
4. 環境経営目標	7
5. 環境経営目標の実績と評価	8
6. 環境経営計画の取組状況と評価	9
7. 来期環境経営目標、来期環境経営計画	10～11
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	12～13
9. 代表者による全体評価と見直し	14

1. 組織の概要

社名 有限会社ダイソー環境開発
代表取締役 吉武 篤
所在地 本社:大分市大字片島2995番地の5
戸次処理場:大分市大字上戸次字源内谷4455番2
高江倉庫:大分市大字上判田字熊ノ迫4367番地
TEL:097-568-8830 FAX:097-568-8844
HP: <http://www.e-daiso.com>
mail: info@e-daiso.com

設立 平成7年7月10日
資本金 500万円

環境管理責任者 吉武真幸
EA事務局 川原雄二
E-mail kankyo@e-daiso.com

事業内容 産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 一般廃棄物収集運搬業
ポータブル蓄電池等の環境関連商品販売

事業規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上	百万円	429	478	523
従業員数	人	28	28	27
本社土地面積	m ²	544.12	544.12	544.12
本社床面積	m ²	227.5	227.5	227.5
戸次処理場面積	m ²		7387.45	7387.45
戸次処理場建屋面積	m ²		1120	1120
高江倉庫面積	m ²	2930	2930	2930
太陽光発電発電量	kWh	524,914	516,529	502,735

事業年度(環境年度) 期首 4月～期末 3月

対象範囲 全組織・全活動

産業廃棄物収集運搬許可内容

産業廃棄物収集運搬業					許可項目																			
都道府県	積替保管（有・無）	許可年月日	有効期限	許可番号	産業廃棄物																			
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	珪さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	動物のふん尿	動物の死体	石綿含有産業廃棄物
大分市	有	R4.8.31	R11.8.30	08810033408	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大分県	無	R4.8.31	R11.8.30	04402033408	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
福岡県	無	H17.5.9	R9.5.8	04000033408	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
宮崎県	無	R5.5.24	R10.5.23	04508033408	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●
熊本県	無	H12.5.9	R7.6.8	04305033408	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●

産業廃棄物収集運搬業 積み替え保管施設許可内容

事業の範囲(積み替え保管行為を含む)	廃プラスチック、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず(以上3種類。ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む)				
許可年月日	R4.8.31		有効期限		R11.8.30
保管容量	18m³	面積		15.9m³	高さ
所在地	大分市大字上戸次字源内谷4455番2			許可番号	第08810033408号

産業廃棄物処分量 中間処分許可内容

事業区分	中間処理(選別・破碎)		
廃棄物の種類	廃プラスチック、紙くず、木くず、がれき類、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず（以上7種類。ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない。特別管理産業廃棄物であるものを除く。）		
許可年月日	R4.7.5	有効期限	R8.9.18
許可番号	第08820033408号		

事業の用に供するすべての施設

施設の種類
設置場所
設置年月日

選別施設

大分市大字上戸次字源内谷4455番2

令和4年6月3日

処理能力

廃プラスチック類 選別 200t/日 破碎 4.48t/日
 紙くず 選別 171t/日 破碎 3.68t/日
 木くず 選別 314t/日 破碎 4.64t/日
 がれき類 選別 845t/日
 繊維くず 選別 69t/日 破碎 2.08t/日
 金属くず 選別 645t/日
 ガラスくず及び陶磁器くず 選別 571t/日

種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、がれき類、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず

一般廃棄物収集運搬業 許可内容			
一般廃棄物の種類	事業系ごみ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、その他事業系一般廃棄物 特定家電用機器廃棄物		
運搬車両の種類及び台数	パッカー車3台、キャブオーバ5台、ダンプ2台、コンテナ車11台、バン1台、軽トラ1台		
許可年月日	R4.10.15	有効期限	R6.10.14
許可番号	大分市指令 第 2879 号		
一般廃棄物収集運搬量 2023年度 14,147.9t			

産業廃棄物処理量 2023年度

廃棄物の種類	単位	収集運搬量	廃棄物の種類	単位	処分量
がれき類（コン・アス殻含む）	t	6,405.17	がれき類	t	2,388.44
木くず	t	1,229.15	木くず	t	486.97
紙くず	t	23.39	紙くず	t	17.92
ダンボール	t	68.74	ダンボール	t	63.93
繊維くず・畳	t	23.35	繊維くず・畳	t	24.49
廃プラスチック	t	639.59	廃プラスチック	t	442.45
ガラス陶磁器くず	t	132.99	ガラス陶磁器くず	t	136.80
石膏ボード	t	856.32	石膏ボード	t	511.39
混合廃棄物	t	3,225.20	混合廃棄物	t	3,171.27
金属くず	t	577.92	金属くず	t	201.65
石綿含有産業廃棄物	t	26.43	管理型ボード	t	38.19
管理型ボード	t	53.28	コンクリート殻	t	2,250.84
動植物性残さ	t	680.08	アスファルト殻	t	288.41
汚泥	t	0.00	樹木類	t	451.62
廃油	t	0.40		t	
おが粉	t	34.29		t	
鉄粉	t	150.04		t	
塗料粉	t	21.56		t	
水銀使用製品	t	2.68		t	
	t			t	
	t			t	
	t			t	
収集運搬量 計	t	14,150.58	中間処分量 計	t	10,474.37

保有車両・機械一覧

種類	台数	種類	台数	種類	台数
10t深ダンプ	2台	10t大型コンテナ車	2台	バックホウ	3台
増tユニック車	6台	2tユニック車	1台	ショベルロータ	1台
5tクラム車	3台	2tPG車	1台	フォークリフト	1台
4tユニック車	2台	軽トラック	2台	フォーククロウ	2個
パッカー車	3台				
2t箱PG車	1台				



パッカー車



大型コンテナ車



ユニック付コンテナ車



クラム付コンテナ車



10tダンプ



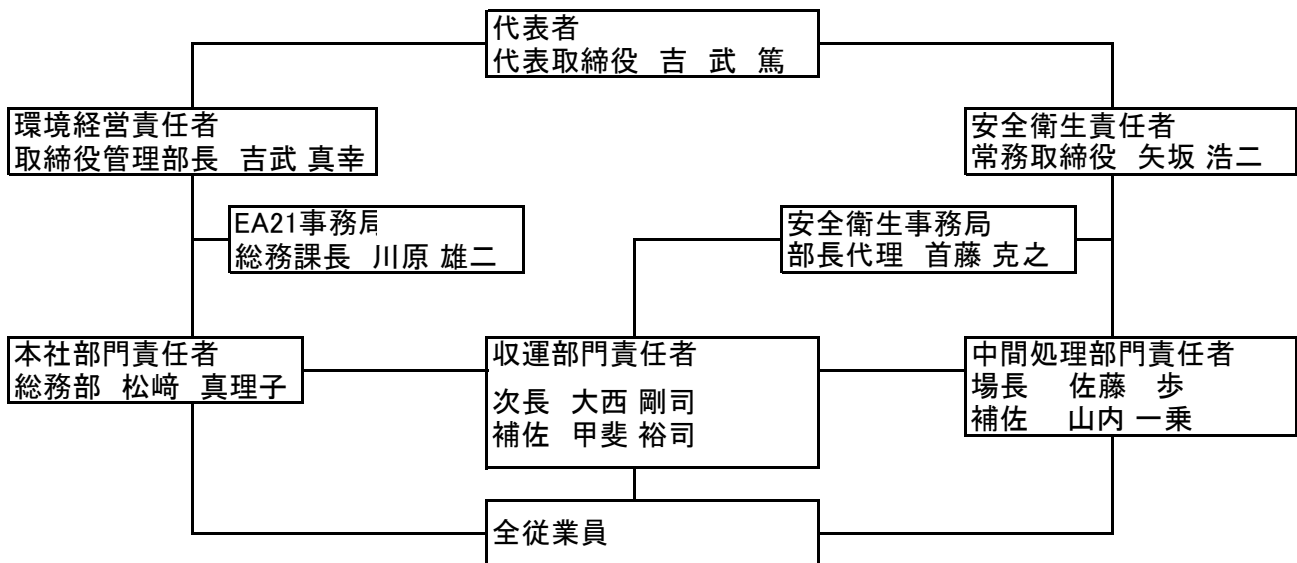
2tユニック

有限会社ダイソー環境開発 産業廃棄物処理フロー（戸次処理場）

廃棄物分類	収集運搬業者	中間処理業者		廃棄物分類	中間処理業者<二次>		中間処理業者<三次>		埋立処分		再生処理業者		
記載事項➡	委託契約者	業者名	処理方法	記載事項	業者名	処理方法	業者名	処理方法 原材料名	業者名	処理方法	再生業者名	再生品目名	
木くず	収集運搬業者 (有)ダイソー環境開発	(有)ダイソー環境開発	処理方法 破砕選別	木くず	㈱東部開発	圧縮・固化	売却(建設廃材系チップ)		産業振興㈱	管理型	㈱東部開発	RPF(燃料)	
	住所 大分市大字片島 2995番地の5		施設住所 大分市大字上戸次字源内谷 4455番2		中山リサイクル㈱	破砕					㈱ファーストバイオス	再生燃料	
	事業の範囲 (積替保管行為を含む)		産業廃棄物の種類		㈱大総	破砕	売却(建設廃材系チップ)				TUマテリアル㈱	再生燃料	
			破砕		トヨー木材工業㈱	破砕	大分گرانマ	管理型					
			紙くず		西ノ洲環境㈱	焼却			再生不能品				
			廃プラスチック類				㈱東部開発	管理型					
			紙くず	ダンボール・古紙	売却		(有)エコトピア九州		再生紙		㈱東部開発		RPF(燃料)
			木くず	紙くず・繊維くず									
			繊維くず		㈱東部開発	圧縮・固化	産業振興㈱		管理型		大分エコセンター㈱		代替燃料
			金属くず		西ノ洲環境㈱	焼却							
			たたみ	㈱東部開発	圧縮・固化	宇部興産㈱		焼成		㈱東部開発	RPF(燃料)		
		廃石膏ボード		㈱大総	破砕					大分エコセンター㈱	セメント原料		
			廃石膏ボード	詫磨環境㈱	破砕	HOKO(株)三重工場		破砕		宇部興産㈱	セメント原料		
				㈱大総	破砕					詫磨環境㈱	改良土		
				㈱NRS	破砕	三菱マテリアル㈱		焼成		酒見建設	再生資源化		
										三菱マテリアル㈱	セメント原料		
						産業振興㈱		管理型		王子マテリア㈱他	製紙原料		
						産業振興㈱		管理型					
						奈良開発		安定型		㈱大総			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱		代替燃料	
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			
						大分大和		安定型		大分エコセンター㈱			

2. 実施体制

有限会社ダイソー環境開発 環境安全衛生組織図



エコアクション21に関する役割と責任

代表者

- ・当社の環境経営方針及び安全衛生方針を決定する。
- ・環境、安全保全活動のための資源(人員、設備、資金等)を確保する。
- ・組織の人事を決定する。 ・環境経営責任者の任命。
- ・環境経営レポートの承認。代表者による全体の評価と見直しを実施する。

環境経営責任者

- ・環境経営目標の策定。 ・マネジメントシステムの構築、実施、維持。
- ・環境活動計画の作成。環境活動進捗の把握。 ・問題点の是正及び予防処置の承認。
- ・代表者への報告。 ・環境経営レポートの確認。

安全衛生責任者

- ・安全衛生管理体制の構築。 ・リスクアセスメントの実施。 ・安全衛生教育の推
- ・緊急事態の想定及び対応策の承認。教育、訓練の実施。

事務局

- ・環境経営責任者及び安全衛生責任者、各部門責任者の補佐。
- ・帳票・文書・記録を取りまとめ、整理保管する。 ・外部環境コミュニケーションに関する総括窓口。
- ・目標管理表の作成と進捗管理。 ・環境経営レポートの作成。

部門責任者

- ・自部門における著しい環境側面及び法的要求事項に係る側面の監視・測定。
- ・自部門の環境活動、安全衛生活動の実施、推進、報告。
- ・自部門における作業指示書の作成。 ・環境方針について自部門の構成員に対しての周知徹底。
- ・環境関連情報の伝達。 ・緊急事態への準備及び対応。

全従業員

- ・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する。
- ・自主的、積極的に環境活動に参加する。

3. 環境経営方針

有限会社ダイソー環境開発

環境経営方針

私たち有限会社ダイソー環境開発は、限りある資源とすばらしい地球環境を次世代に引き継ぐために、環境と調和の取れた企業活動を目指します。

1. 環境側面に関連する法規、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 廃棄物処理全般において、環境負荷の低減を第一に考え、汚染予防、再資源化に努めます。
3. 事業活動における環境影響を随時把握し、特に以下の項目については優先的に活動し、継続的改善に努めます。
 - ① 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用に努め、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ② 水使用量の削減に取り組みます。
 - ③ 廃棄物排出量の削減、分別の徹底に取り組みリサイクル化を推進します。
 - ④ 5Sの徹底
4. 全従業員に対し、環境経営方針を含めた教育と啓発、必要に応じた専門教育を実施し、環境意識の向上に努めます。
5. 環境経営レポートの定期発行により、環境情報を公開するとともに、地域貢献活動を推進します。

2021年 2 月 12 日

有限会社ダイソー環境開発

代表取締役 吉 武 篤

4. 環境経営目標

作成日:2023年1月16日

【各年度の対象期間は、決算年度 4月～翌年3月】

環境経営方針の番号	選択課題	基準年度 2019年度実績	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
3-1	二酸化炭素排出量	376,698 kg-CO2	374,824 △0.5%	372,959 △1%	491,362 前年実績から△0.5%
3-1	電力消費量	30,252 kWh	30,101 △0.5%	29,952 △1%	29,805 △1.5%
3-1	ガソリン消費量	9,094 ℓ	9,049 △0.5%	9,004 △1%	10,608 前年実績から△1%
3-1	軽油消費量	132,313 ℓ	131,655 △0.5%	131,000 △1%	廃棄物運搬量/7.28 前年比△0.5%
2	処分を受託した産業廃棄物のリサイクル率	85.4 %	85%以上を維持する		
3-2	水使用量	434 m ³	432 △0.5%	430 △1%	428 △1.5%
3-4	5Sの徹底	整理・整頓・清掃・清潔・躰を常に意識し、作業効率の良い現場を目指す。			
			書類の整理・整頓	中間処理場の整理・整頓	
5	ボランティア活動	事務所、中間処理場周りの清掃活動、ゴミ拾いを行う。			

CO2係数——ナンワエナジー 2019年度 0.465kg-CO2/kWh(調整後排ガス係数)

環境経営目標・活動計画管理表

2023年度(2023年4月～2024年3月)

結果の記載：達成=◎ 未達成=×

評価は各期の数値と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

その際、年度の目標達成が困難と思われる課題は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

No.	環境目標		4月	5月	6月	4-6月期計	7月	8月	9月	7-9月期計	10月	11月	12月	10-12月期計	1月	2月	3月	1-3月期計	年度計
3-1	二酸化炭素排出量削減 前年(基準年度 対比) △0.5% 単位:kg-CO2	前年	36185	39389	41732	117306	46880	39117	42816	128813	40845	47774	42448	131067	32888	41475	42270	116633	493819
		目標値	36005	39193	41524	116722	46647	38922	42603	128172	40642	47536	42237	130415	32724	41269	42060	116053	491362
		実績	32860	31298	38841	102999	38832	40084	41120	120036	38748	45578	43796	128123	36400	37698	43578	117675	468833
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×	×	◎
		評価	目標達成 前年度の結果を受け、目標を下方修正した。 目標達成の大きな要因は遠方の現場が減り、走行距離が減ったこと。軽油がほとんどの割合を占めている。削減の施策は継続する。																
3-1	電力消費量削減 前年(基準年度 対比) △1.5% 単位:kWh	基準年度	1852	1616	2033	5501	2911	3217	2322	8450	1851	2370	2892	7113	3589	2941	2658	9188	30252
		目標値	1825	1592	2003	5420	2868	3169	2288	8325	1824	2335	2849	7008	3536	2898	2619	9052	29805
		実績	4695	4555	8628	17878	15452	15877	14572	45901	14,105	13,824	15,090	43019	15,199	13,035	11,246	39480	146278
		結果	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		評価	戸次中間処理場が本格稼働したことで、選別機、破碎機の電力消費量が大い。次年度は目標値を見直す。																
3-1	ガソリン消費量削減 前年比 △1% 単位:ℓ	前年	1012	963	972	2947	968	907	952	2827	959	835	875	2669	781	684	805	2270	10713
		目標値	1002	953	962	2918	958	898	943	2799	950	827	866	2643	773	677	797	2248	10607
		実績	583	891	860	2334	919	797	872	2588	743	738	787	2268	698	744	780	2222	9412
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
		評価	目標は達成したが、そもそも前年比-1%の目標に意味がないと感じた。(電話対応でいい顧客と実際に足を運ばなければならぬ顧客を選べないため)削減の施策は継続し、目標については1年様子を見る。																
3-1	軽油消費量削減 前年比 △0.5% 単位:廃棄物運搬 1tあたりのℓ	前年	7.32																7.32
		目標値	7.28																7.25
		実績	11.10																11.10
		結果	×																×
		評価	目標未達 配車の責任者を変更し、より効率的な配車を目指す。																
2	廃棄物リサイクル率 85%以上 単位:%	基準年度	85.40%																85.4
		目標値	85%																85
		実績	92.90%																92.90%
		結果	◎																◎
		評価	目標達成 引き続き継続していく。																
3-2	水使用量削減 前年(基準年度 対比) △1.5% 単位:m³	基準年度	32.5	33	33	98.5	32.5	37	37	106.5	38.5	38.5	38.5	115.5	38.5	37.5	37.5	113.5	434
		目標値	32.0	32.5	32.5	97.0	32.0	36.5	36.5	104.9	37.9	37.9	37.9	113.8	37.9	36.9	36.9	111.8	428
		実績	23	23	21	67	21	20	20	61	15.5	15.5	17.5	48.5	17.5	16.5	16.5	50.5	227
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	目標達成 戸次処理場に移転したことで、井戸水のため水道使用量が大きく減少した。																
3-4	5Sの徹底 毎週土曜日の徹 底清掃 単位:回	基準年度	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	24
		目標値	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	48
		実績	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	48
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	目標達成 引き続き継続していく。																
5	ボランティア活動 事務所、高江中間 処理場周りのゴミ 拾い活動 単位:回	基準年度	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2
		目標値	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	4
		実績	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	4
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	目標達成 引き続き継続していく。																

6. 環境経営計画の取組状況と評価

作成日 2021/2/22

2023年度 評価日 2024/6/20

環境経営方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	対象部門	評価	結果
1	二酸化炭素排出量削減				
3-1	電力消費量削減	1. 不在時の消灯 不要時のエアコン停止	本社	不在時の消灯・エアコン停止を徹底した。	○
		2. 冷暖房の温度設定を夏28℃冬20℃にする	本社		○
		2-2. 暖房の温度設定を冬25℃にする	中間処理部門		○
		3. クールビズ、ウォームビズの実践	全部門		○
		4. 照明、空調のエリアごとの調整	本社		○
3-1	ガソリン消費量削減	1. 月1回の車両点検を行う	本社	昨年度と同じく、出発前のルート確認が不十分な事例があった。無駄足を減らす努力を徹底するよう指導する。	△
		2. エコドライブの励行	全部門		○
		3. 現地見積・訪問は予定を立て、近辺の現場と併せて伺う	本社		△
		4. 出発前に電話連絡・ルート確認し、無駄のない走行を行う	本社		△
3-1	軽油消費量削減	1. 毎朝のトラックの点検	収運部門	収集運搬部門は洗練されている。本社部門は配車時点でのロス減らし、近場の現場に確認をするため、配車責任者の変更処置をとった。	○
		2. エコドライブの励行 出発前のルート確認	収運部門		○
		3. BCにて報連相を適宜行い、無駄な走行を減らす	収運部門		○
		4. 配車の際、回収ルート周辺の現場に連絡し、排出があるか確認する	本社		△
2	廃棄物リサイクル率向上	1. 常により良い処理方法を追求する	全部門	リサイクル率92%と素晴らしい数字となった。引き続き継続していく。	○
		2. 選別方法の定期的な見直しを行う	中間処理部門		○
		3. 選別困難な廃棄物が排出された場合、都度注意し改善を促す	全部門		○
		4. 安定型埋立場に排出するものを極力少なくする	中間処理部門		○
3-2	水使用量削減	1. 洗車時のこまめな節水	本社	目標達成 節水の意識も高く、引き続き実施したい。	○
		2. 使用量の記録・報告による意識付け	本社		○
3-4	5Sの徹底	1. 月1回の安全衛生会議の際のパトロール	本社	安全パトロール、5S活動等よくできた。本社の書類整理、PCフォルダ整理は効率的作業に役に立った。引き続き継続していく。	○
		2. 場内の5S活動 毎週土曜日15:00～17:00	中間処理部門		○
		3. 終業時の清掃 毎日16:45～17:00	中間処理部門		○
		4. 書類の徹底整理 年2回	本社		○
		5. PC内フォルダの徹底整理 年2回	本社		△
		6. 本社・中間処理場周辺のゴミ拾い活動 年2回	全部門		○
5	ボランティア活動	1. 事業所周辺の清掃・ゴミ拾い活動 年2回	全部門	無事活動できた。次年度も引き続き継続していく。	○

4. 環境経営目標

作成日:2024年6月10日

【各年度の対象期間は、決算年度 4月～翌年3月】

環境経営方針の番号	選択課題	基準年度 2023年度	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
3-1	二酸化炭素排出量	468,833	466,500	464,180	461,870
		kg-CO2	△0.5%	△1%	△1.5%
3-1	電力消費量	146,278	145,550	144,826	144,106
		kWh	△0.5%	△1%	△1.5%
3-1	ガソリン消費量	9,412	9,365	9,319	9,272
		ℓ	△0.5%	△1%	△1.5%
3-1	軽油消費量	11.10	11.04	10.99	10.93
		ℓ/t	△0.5%	△1%	△1.5%
2	処分を受託した産業廃棄物のリサイクル率	90.6 %	85%以上を維持する		
3-2	水使用量	227 m ³	226 △0.5%	225 △1%	224 △1.5%
3-4	5Sの徹底	整理・整頓・清掃・清潔・躰を常に意識し、作業効率の良い現場を目指す。			
			書類の整理・整頓	中間処理場の整理・整頓	
5	ボランティア活動	事務所、中間処理場周りの清掃活動、ゴミ拾いを行う。			

CO2係数——九州電力 2021年度 0.296kg-CO2/kWh(調整後排ガス係数)

次年度(2024年度) 環境経営計画

作成日

2024/3/20

環境経営方針 の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	対象部門
1	二酸化炭素排出量削減		
3-1	電力消費量削減	1. 不在時の消灯 不要時のエアコン停止	本社
		2. 冷暖房の温度設定を夏28℃冬20℃にする	本社
		2-2. 暖房の温度設定を冬25℃にする	中間処理部門
		3. クールビズ、ウォームビズの実践	全部門
		4. 照明、空調のエリアごとの調整	本社
3-1	ガソリン消費量削減	1. 月1回の車両点検を行う	本社
		2. エコドライブの励行	全部門
		3. 現地見積・訪問は予定を立て、近辺の現場と併せて伺う	本社
		4. 出発前に電話連絡・ルート確認し、無駄のない走行を行う	本社
3-1	軽油消費量削減	1. 毎朝のトラックの点検	収運部門
		2. エコドライブの励行 出発前のルート確認	収運部門
		3. BCIにて報連相を適宜行い、無駄な走行を減らす	収運部門
		4. 配車の際、回収ルート周辺の現場に連絡し、排出があるか確認する	本社
2	廃棄物リサイクル率向上	1. 常により良い処理方法を追求する	全部門
		2. 選別方法の定期的な見直しを行う	中間処理部門
		3. 選別困難な廃棄物が排出された場合、都度注意し改善を促す	全部門
		4. 安定型埋立場に排出するものを極力少なくする	中間処理部門
3-2	水使用量削減	1. 洗車時のこまめな節水	全部門
		2. 使用量の記録・報告による意識付け	本社
3-4	5Sの徹底	1. 月1回の安全衛生会議の際のパトロール	本社
		2. 場内の5S活動 毎週土曜日15:00~17:00	中間処理部門
		3. 終業時の清掃 毎日16:45~17:00	中間処理部門
		4. 書類の徹底整理 年2回	本社
		5. PC内フォルダの徹底整理 年2回	本社
		6. 本社・中間処理場周辺のゴミ拾い活動 年2回	全部門
5	ボランティア活動	1. 事業所周辺の清掃・ゴミ拾い活動 年2回	全部門

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

更新日 2024/6/29

法 令	該当する環境側面	要求事項		順守評価		備考・評価	
		該当条項、規制値、届出、許可等	記 録	確認結果	評価者		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律		・収集運搬業許可(法14) 5年更新(優良認定7年更新) ・処分業許可(法14) 5年更新(優良認定7年更新)		許可証にて確認 収集運搬R11/8/30 処分R8/9/18	吉武 真幸		○
	産業廃棄物収集・処分 委託契約書	a、年間契約 b、期間限定(現場)契約 許可書の写しを確認する 5年間保存	・廃棄物処理委託契約書の 管理表とファイル	委託契約書管理表 にて確認	吉武 真幸		○
	マニフェスト用紙(収集運搬)	・B1C2の保管・5年間保存・回収後180日以内に返却	・マニフェスト綴り	マニフェスト綴にて確 認	川原 雄二		○
	〃 (中間処理)	・C1の保管・5年間保存・回収後180日以内に返却	・マニフェスト綴り				○
	〃 (排出側)	・マニフェストの発行・AB2DEの保管・発行後180日の返却日確認 ・産業廃棄物排出量報告義務(事業年度を6月末日までに報告)	・マニフェスト綴り				○
							○
	トラック	・収集運搬車両及び許可番号の表示 ・収集運搬業許可証(写し)の携帯 ・電子マニフェストシステムの加入証(写し)の携帯	・ステッカー表示 ・写しの携帯	現場確認	吉武 真幸		○
							○
							○
							○
	産業廃棄物	・保管基準(高さ2.1m、容量130m³) ・表示板の設置 ・アスベスト含有建材(成形板)、 水銀使用製品(蛍光灯等)の仕切り保管		戸次中間処理場 現場確認	吉武 真幸		○
							○
							○
							○
道路運送車両法	トラック	・道路運送車両の検査等(法58) ・定期点検整備(法48条) ・整備管理者の選任(法50条) 8t以上の自動車5台以上、その他10台以上	・自動車検査証 ・点検整備記録 ・整備管理者選任届	全車両の検査証と 整備記録を確認	首藤 克之	日常点検	○
				H20年2月届出済 首藤克之	首藤 克之		○
							○
貨物自動車運送事業法		・一般貨物自動車運送事業の許可(法3条) ・変更があった場合(法9条) ・運行管理者の選任(18条) ・事故の報告(転覆火災等の重大事故)(24条) ・事業報告(法60条)	・許可証 ・変更届 ・運行管理者選任届 ・災害及び事故発生状況報告書 ・営業報告書	H17/10/14に許可 所得	首藤 克之		○
				変更なし			○
				H18年10月届出済 矢坂浩二	八坂 浩二		○
				重大事故なし			○
				H30/6/19提出済	八坂 浩二		○
道路交通法	過積載	・過積載の禁止(第57条)	・計量伝票	毎回確認済	吉武 篤		○

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

法 令	該当する環境側面	要求事項		順守評価		備考・評価	
		該当条項、規制値、届出、許可等	記 録	確認結果	評価者		
労働安全衛生法	フォークロウ(バックホウ) タイヤショベル フォークリフト	・特定自主検査 年1回	・特定自主検査記録表	特定自主検査記録表にて確認済み	八坂 浩二		○
							△
							△
計量法	トラックスケール	・定期検査 2年に1回	・検査記録表	H26.9設置 合格	八坂 浩二		○
							△
浄化槽法	浄化槽	・届出(設置、変更、廃止) H15,1.21届出 18人槽 片島本社 ・届出(設置、変更、廃止) H17,11.30届出 10人槽 戸次処理 ・1回/2月の保守点検及び清掃(水質検査) ・年1回の定期検査(設備・水質検査) ・保守点検及び清掃の記録の保存(3年間)	・設置届出 ・浄化槽管理記録 ・検査結果報告書	浄化槽点検簿にて 確認済み	吉武 篤		○
							○
							○
							○
							△
古物営業法		・古物営業許可(法3条) ・標識の掲示(法12条) ・管理者の選任(13条)	・営業許可証	許可証を確認済 玄関正面に掲示 H23年10月届出済	吉武 篤		○
							○
							○
		・帳簿等への記載(16条)	・帳簿	取引がないので 記載なし			△
							△
騒音防止条例	選別ライン	・特定施設設置届	・特定施設届出書	H26.7.24届出済	吉武 真幸		○
							△
							△
フロン排出抑制法	空調・エアコンの使用	・年4回の簡易点検実施	・第一種特定製品 簡易点検記録簿	点検記録簿にて 異常がないことを 確認	藤本 拓也		○
							△
							△
家電リサイクル法	リサイクル家電(家電4品目)	・家電リサイクル券システム(取扱店)入会 ・管理表(家電リサイクル券)3年間保存	・家電リサイクル券 ・リサイクル家電管理表	確認	吉武 真幸		○
							○
消防法	インタンク	・届出(変更) R5/5/17 ・管理者の設置 ・定期点検の実施	・危険物取扱所届出書 ・危険物取扱免状 定期点検実施報告書	確認	吉武 真幸		○
							○
							○
2024/6/29	評価日 法令違反なし、苦情なし						

8. 代表者による全体評価と見直し

環境情報	環境経営責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況 確認結果	特に問題はなかった	問題なし
2 環境経営目標の達成状況	達成：ガソリン消費量、CO2排出量、水使用量、廃棄物リサイクル率、5S、ボランティア活動 未達：電力消費量、軽油消費量	目標を変更したが肝心の軽油の消費量は未達となった。燃費改善は十分に取り組んでいる。結果を出すにはルートの最適化が必要と考える。配車係を変更し、効果を期待する。
3 環境経営計画の実施状況	引き続き徹底していく	全従業員で継続していくよう周知徹底を図ること。
4 問題点の是正、予防の状況	電力消費量が大きく上がった要因は戸次中間処理場の本格稼働に伴い、破砕機・選別機の電力消費量が大きいためです。目標を変更します。	目標を変更する。
5 外部からの苦情・訴訟の有無及び 対応結果	苦情はなかった	問題なし
6 環境上の緊急事態の訓練 結果及び対応結果	全従業員に周知徹底させた	問題なし
7 その他	特になし	特になし

見直しの 必要性判断と 代表者の指示	①環境経営方針	継続していく
	②環境経営目標	変更する。
	③環境経営計画	継続していく
	④環境経営システム	継続していく
	⑤実施体制	継続していく
	その他の指示・所感	今期は電気消費量が大幅に増加した。目標を変更し、引き続き全従業員で取り組んでもらいたい。昨年目標を変更した軽油消費量は目標未達となったが、絶対量は減ったためCO2排出量は目標達成した。

作成日 2024/6/25

代表者 吉武 篤

教育・訓練計画 記録

作成日:令和2年2月18日

作成	承認
吉武 真幸	吉武 篤

[illegible]

リスクアセスメント見積り・評価記録表

部署	戸次中間処理場
作業内容	中間処理、選別作業
作成者	戸次中間処理場メンバー一同
承認者	矢坂
作成日	2023/7/6

		災害重篤度			
		致命的	重大	中程度	軽度
発生頻度	極めて高い	5	5	4	3
	比較的高い	5	4	3	1
	可能性あり	4	4	2	1
	ほとんどなし	4	3	1	1

優先度	
5~4	直ちに除去・低減の措置を要する
3~2	速やかに除去・低減の措置を要する
1	経過をみながら必要なら除去・低減の措置をする

危険・有害要因	発生する災害	発生頻度	災害重篤度	優先度	対策	対策結果
廃棄物展開作業	廃棄物またはバックホウが作業員に接触する。	可能性あり	重大	4	①オペレーターは作業前声掛けし、人払いしてから作業する。②作業員はオペレーターの指示に速やかに従う。③ひっくり返した後のフレコン回収は、必ずオペレーターがフレコンを地面においた後に行う。④バック時はオペレーターが必ず目視確認する。	
フレコンの上に登る	転落する。転倒する。	比較的高い	中程度	3	ハード面の対策として、①フレコンは2段以上積み上げない。②基本的にはフレコンの上に登らない。ソフト面の対策として、①どうしても登らなければならない時は、四つん這いになって、安定した姿勢を取る。②常に片手は帯をつかんでおく。	
廃棄物荒選別作業	バックホウで広げる前にゴミの上に登り、滑って転倒する。	極めて高い	軽度	3	①バックホウまたはショベルが広げるのを待って作業する。②バックホウまたはショベルのオペレーターは、ダンプした後、速やかに廃棄物を広げる。③廃棄物が多量の時は、手前から作業する。	
廃棄物展開作業	重機移動時、廃棄物の中のリチウムイオンバッテリーやライター、スプレー缶を踏み、発火する	可能性あり	中程度	2	ハード面の対策として①消火用の乾燥砂を常備する。ソフト面の対策として①重機で廃棄物の上を走行する頻度をできるだけ減らす(排土板で押し再度広げるようにする。)②展開時に目視し、バッテリー等は先に拾う。③営業サイドはバッテリーを混合に入れないよう客先に注意・案内する。	
重機作業	乗り降りの時に、滑って転倒する。	極めて高い	中程度	4	①サイドバーを必ずつかんで乗り降りする。②泥を落として乗り降りする。③あわてずに、降りるときは必ず後ろを向いて降りる。	
廃棄物荒選別作業	テント内での選別作業時、PPバンド等に足を取られ転倒する。釘が足に刺さる。	極めて高い	軽度	3	ハード面の対策として①釘踏み抜き防止インソールを、半年に1回交換する。②安全靴の減りを確認し定期的に交換する。ソフト面の対策として、①移動時、必要以上に足を上げない。(すり足が望ましい)②釘が上を向いているコンパネ等を発見したら、速やかに除去する。	
荒選別作業 重量物を手で持ち上げる作業	急性腰痛症、外傷性腰椎椎間板ヘルニア等	極めて高い	重大	5	ハード面の対策として、コルセットを使用する。ソフト面の対策として、①持ち上げる際の基本動作を習得する②持ち上げる際、足場に注意する。③他に作業員がいる場合は声掛けし、2人で作業する。④腰痛のある作業員は隠さず声を掛け、より安全なシフトで作業する	
タイヤショベル	タイヤショベルと人との接触	比較的高い	重大	4	①オペレーターは周囲をよく見て走行する。バック時は特に注意し、目視確認する②クラクションを鳴らしてから動き出す。③走行方向に作業員がいるときは、声掛けまたはクラクションし、互いの認知確認する。④作業員は極力タイヤショベルの動線に入らないようにする。	

リスクアセスメント見積り・評価記録表

部署	戸次中間処理場
作業内容	中間処理、選別作業
作成者	戸次中間処理場メンバー
承認者	矢坂
作成日	2023/7/6

		災害重篤度			
		致命的	重大	中程度	軽度
発生 頻度	極めて高い	5	5	4	3
	比較的高い	5	4	3	1
	可能性あり	4	4	2	1
	ほとんどなし	4	3	1	1

優先度	
5~4	直ちに除去・低減の措置を要する
3~2	速やかに除去・低減の措置を要する
1	経過をみながら必要なら除去・低減の措置をする

選別機作業	重機により廃棄物投入時、廃棄物がこぼれ作業員にあたる。	ほとんどなし	重大	3	①オペレーターは投入時声をかける②作業員は投入時、目視しておく。
選別機作業	ベルコンに指や衣類が挟まれる。	ほとんどなし	重大	3	作業時の服装は適切なものを着用する。
トラックテント内バック	テント内をバックするトラックが、後方の作業員に気付かず、作業員が敷かれる。	ほとんどなし	致命的	4	①必ず誘導員が運転席側後方に立ち、誘導する。②ドライバーは誘導員の指示なしでテント内に入らない。③ドライバーはバラの廃棄物がある時は帰社の前に戸次場長にTELする。
トラックコンテナ荷卸し	作業員が観音扉をロックする前にドライバーがダンプしてしまい、扉が作業員に当たる。	比較的高い	中程度	3	①運転席側の作業員の指示で行動することを徹底する。②助手席側の作業員はむやみに声を出さないことを徹底する。
トラックコンテナ荷卸し	観音扉を開けた時に中の廃棄物が落下し、作業員に廃棄物があたる。	可能性あり	中程度	2	①扉を開けると廃棄物が落ちてくることを理解し、速やかに開ける。
丸鋸や高速カッターでの作業	刃で人体を切ってしまう。	ほとんどなし	重大	3	ハード面の対策として、作業する人間を決める。向いていない人間に作業させない。ソフト面の対策として、①保護メガネの着用を徹底する。②作業時、周囲の人払いをして作業を開始する。③作業中に、他の人間が通行せざる負えない場合は、声掛けし、作業中断を確認して通行する。④カッター作業時は専用の切創防止手袋を着用する。
机や椅子、小型家電等の小解体し作業	ハンマーが手をすっぽ抜け、周囲の人間に当たる。物を地面にたたきつけ、跳ね返った物が人間に当たる。	比較的高い	軽度	1	①軽く作業してみて、難しいと感じたらバックホウに任せる。②ハンマーを使う時は、握力が1振り毎に低下することを自覚する。③ハンマーを振る方向に人間がいないことを確認し、作業する。
可燃物またはダンボールを、パッカーに巻く作業	パッカーの回転部に手を巻き込む。	ほとんどなし	重大	3	ハード面の対策はなし。ソフト面の対策として、①作業前に毎回、緊急停止装置を作動し、動作確認をする。②異物が混入した際、あわてずに、回転を止めてから除去する。
長時間労働	ぎっくり腰等	比較的高い	中程度	3	ハード面の対策として①残業時間を45時間/月以内になるよう努力する。ソフト面の対策として、①1人が長く残業することを避け、人数を増やす。

リスクアセスメント見積り・評価記録表

DAISO 株式会社 環境開発

部署	運輸部						
作業内容	運転、回収作業						
作成者	運輸部メンバー一同						
承認者	矢坂						
作成日	2023/7/13						

リスクアセスメント見積り・評価記録表

部署	運輸部
作業内容	運転、回収作業
作成者	運輸部メンバー一同
承認者	矢坂
作成日	2023/7/13

		災害重篤度			
		致命的	重大	中程度	軽度
発生頻度	極めて高い	5	5	4	3
	比較的高い	5	4	3	1
	可能性あり	4	4	2	1
	ほとんどなし	4	3	1	1

優先度	
5~4	直ちに除去・低減の措置を要する
3~2	速やかに除去・低減の措置を要する
1	経過をみながら必要なら除去・低減の措置をする

危険・有害要因	発生する災害	発生頻度	災害重篤度	優先度	対策	対策結果
クラム・玉掛け作業	クラムの爪にフレコンの玉掛けを行う際、手をはさむ。	可能性あり	重大	4	指揮者の声掛け合図を確認するまで、クラム作業者は操作をしない。	
走行時	積み荷が飛散し、車や人に当たる。	比較的高い	重大	4	飛散防止用のシートをする。あおり・観音扉をきちんと閉める。 (あおりが閉まるのを確認し、出発する) 危険と判断した場合は無理に積みこまない。	
クラム作業	クラムでバラを回収時、つかんだはずみで、物が飛散し、人や目に当たる。	極めて高い	重大	5	周辺に人がいないか確認し、ゆっくり掴む。作業者は、保護メガネを着用する。	
コンテナ設置作業	コンテナ降ろし作業時に前後に人がいて、巻き込む。	ほとんどない	重大	3	設置時に周辺に人または障害物がないか確認する。誘導員がいれば、見てもらう。	
アウトリガー	ロックが不十分で、走行中に出てしまい対向車やガードレール等に接触する。	ほとんどない	重大	3	ロックを確実にかけ、確認する。レバーを塗装して視認しやすくする。	
坂道での作業時	トラックが動き出し、下にいた人間・物に接触する。	ほとんどない	重大	3	平坦な場所があるならば、できるだけそちらで作業する。輪止めを確実に設置する。サイドブレーキをしっかりとかける。	
天上がある場所を通過する時	天上に接触し、電球等を壊す。	可能性あり	軽度	1	通過する前に、高さを確認し、無理そうなら迂回したり別の方法を考える。誘導員がいるときは、見てもらいながら通過する。	

教育・訓練実施記録

教育・訓練実施記録			作成	承認
作成日:2022.11.7			吉武	矢坂
教育・訓練名	火災訓練・地震発生対応訓練	講師名(機関)	矢坂浩二・吉武真幸	
実施日	2023/11/7	実施場所	ダイソー環境土場	
テキスト	作業指示書 地震 作業指示書 火災			
目的	安全作業の遂行と緊急時の対応			
内容	1、 回収作業時の手順 2、 安全運転の励行 3、 事故時の対応 4、 非常時(事故・災害等)の緩和処置 5、 運転中の落下や飛散防止 6、 地震発生時の対応手順確認 7、 地震発生対応訓練 9、 火災発生時における、連絡・伝達手段の確認 8、 消火器の保管場所の確認とピンの外し方・期限の確認 10、消火器による消火活動 11、車両搭載備品の確認(車止・安全看板・アウトリガー敷・ネット・シート・ロープ・ウエス等) 12、事故事例DVD鑑賞 13、その他			
参加者の意見・感想	地震対応訓練で対応手順の確認ができた。実際に地震が起きてしまっても、慌てずに対応できるようになったと思う。			
効果の確認	作業手順通りに進めた結果、教育・訓練を無事に終了することが出来ました。			
緊急時の対応・緩和手順の見直し改訂	対応・緩和手順の見直しについてレビューした結果、改訂の必要なし。			

参加者	氏名	部門	氏名	部門	氏名	部門
	吉武 篤	代表	御沓 寛和	収運部	佐藤 歩	中間処理部
	矢坂 浩二	本社	河野 圭介	収運部	山内 一乗	中間処理部
	首藤 克之	本社	桑原 正行	収運部	佐藤 彰	中間処理部
	吉武 真幸	本社	櫻井 高広	収運部	後藤 猛	中間処理部
	藤本 拓也	本社	仲野 治	収運部	熊丸 元人	中間処理部
	川原 雄二	本社	渡辺 裕太郎	収運部	吉田 三奈	中間処理部
	大西 剛司	収運部	松尾 輝樹	収運部	吉武 彰宏	中間処理部
	甲斐 裕司	収運部	白石 智之	収運部		